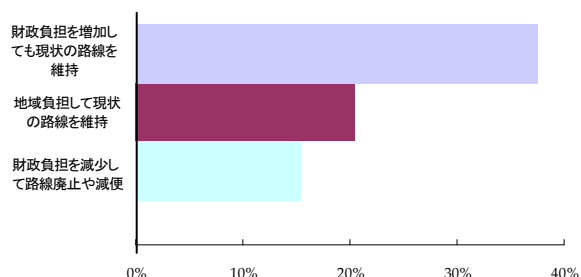


調査結果3 路線バスの維持

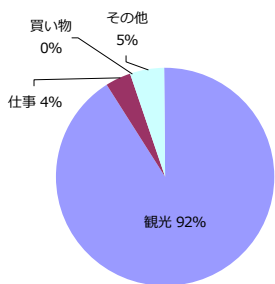
路線バスの維持については、なんらかの負担をしてでも、現状の路線バスを維持すべきと回答した者が57%いることが分かった。



調査結果4 南伊豆・西伊豆地域への訪問

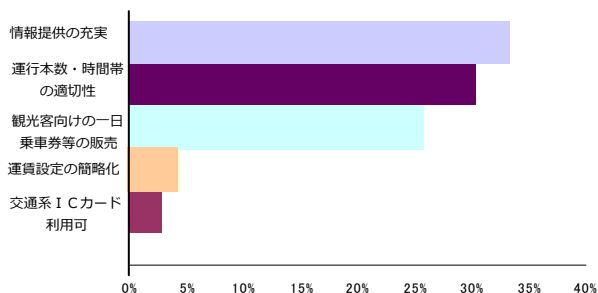
南伊豆・西伊豆地域への訪問目的は、92%が観光目的でした。

また、訪問時の移動手段として最も回答が多かったのは自家用車の90%であり、路線バスを利用して訪問したと回答した者は5%でした。



調査結果5 南伊豆・西伊豆地域の路線バス

南伊豆・西伊豆地域を訪れた方に、路線バスを利用するために特に重要なことを質問したところ「目的地までの行き方等分かりやすい情報提供」「利用者実態に合わせた運行本数・時間帯の設定」と回答した者が多く、サービス向上を求めていることが分かった。



調査結果6 自由意見

主な自由意見については、次のとおりでした。

- 知らない場所で運転のストレスから解放され、景観を楽しめる魅力が大きい。
- 世の中には車の運転ができない学生や高齢者等がいる。この方の交通手段を確保することが地域公共交通の役割だと思う。
- 小型のバスで運行すれば、細かい場所を停留所にてできる。また、燃費コストを抑制できる。
- 運行本数が少ない。最終バスの時間が早い。
- 路線バスと鉄道の接続がよくない。バスの発着時間を把握できるようにしてほしい。
- 今後高齢化で免許返納の人が増えた場合に、小回りのきく低料金のコミュニティバスのようなシステムが普及すると伊豆地区の人も暮らしやすくなると感じる。

まとめ

アンケート調査の結果、回答者の8割が路線バスを利用していないと答えている一方で、9割の方が自宅の最寄りにバス停があることを知っており、バス停の認知度は非常に高いことが分かりました。

また、路線バスの不便な点として、回答者の7割が運行本数が少ないと回答するなど様々なサービス改善の必要性を感じている一方、路線バスの維持については、行政の財政負担を増加しても維持すべきと回答しているものが最も多く、公共交通であるバス路線の維持に対する意識が高いことが分かりました。

最寄りのバス停から通勤、通学、買い物等で公共交通を利用してもらえるよう、サービスの改善・向上をしていくことが今後の課題です。

また、南伊豆・西伊豆地区への来訪に係るアンケートでは、ほとんどの方が観光を目的に自家用車で訪問していました。当該地域でバスの利用を促進するためには、乗りたいバスがすぐ分かるなど情報提供の充実、利用者のニーズにあった時間帯に運行などの改善を求めていることが分かりました。

これらの御意見は、現在策定している南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画の策定に反映させてまいります。